

福祉とやま

ふれあいネットワーク (福) 富山県社会福祉協議会広報誌

2021
11月号
November

No.460



車いすツインバスケットボールクラブ「富山Super Guts」の練習風景

目次

CONTENTS

特集 P2~4 富山県における障がい者スポーツの取り組み

情報フラッシュ

県健康・福祉人材センターから P5

知っておきたい福祉情報 社会福祉経営相談室から

あかいはねトピックス P6

我が社会福祉法人の地域における公益的な取組

シニアタレント・語り部登録者募集中

寄付報告 P7

NPO法人の紹介 NPO法人 あいの風(黒部市)

しせつの損害補償 P8

ボランティアグループ紹介 なごみの会(小矢部市)

令和3年度「介護川柳」入賞作品 P9

企業のトップが考える「地域との共生」

岸田木材株式会社 代表取締役 岸田 毅氏 P10

福祉用具・アイデアコンクール受賞作品発表!

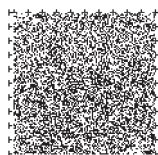
第25回福祉フォーラム開催

特例貸付延長のお知らせ P11

フリートーク

富山県外国人ワンストップ相談センター 相談コーディネーター 清水 文代さん

県社協のおもな動き/編集後記 P12



スマートフォン用アプリ「Uni-Voice」
または「Uni-Voice Blind」を使えば
情報を音声で読み上げると同時に、テキストで表示されます。



この広報誌は共同募金の助成を受けています。

富山県における 障がい者スポーツの取り組み

今年「東京2020パラリンピック競技大会」が開催され、障がい者スポーツに注目が集まっています。障がいのあるトップアスリートたちの活躍は、私たちに感動と希望を与えてくれました。

パラリンピックの生みの親・グッドマン博士の「失われたものを数えるのではなく、残された機能を最大限に活かそう」という言葉に、障がいのある人のスポーツの考え方があります。障がいによってできないことがあっても、ルールや用具をほんの少し工夫することで、さまざまなスポーツが楽しめるようになるのです。

今回は、富山県内で障がい者スポーツに取り組む人や、その人らを支える団体を取材しました。



事務局長 恒川 修さん

富山県障がい者スポーツ協会

「富山県障がい者スポーツ協会」は、1995年に「富山県身体障害者スポーツ協会」として設立し、2001年に知的障がい者を加えて改組されました。基本方針は障がい者スポーツの振興を図り、

8つの事業で 協会の目的を果たす

3

すべての人に
健康と福祉を

11

住み続けられる
まちづくりを

17

パートナーシップで
目標を達成しよう

スポーツを通じて障がい者の心身の健康維持を増進し、社会参加意欲を高めること。さらに県民の障がい者に対するいっそうの理解を深め、ノーマライゼーションの確立に寄与することです。これらの目的を果たすために、大きく分けて8つの事業を行っています。

県障がい者スポーツ協会の事業

1. 障がい者スポーツの普及・啓発事業
2. 障がい者スポーツの推進事業
3. 障がい者スポーツの指導者養成事業
4. 障がい者スポーツ審判員の養成事業
5. 全国障がい者スポーツ大会への選手派遣事業
6. 富山県障がい者スポーツ大会の開催事業
7. 障がい者スポーツ応援事業
8. 障がい者スポーツ全国大会及び国際大会選手派遣事業

全国でも珍しい 19の教室を開催

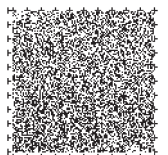
多岐にわたる事業のなかで、とくに力を入れていることが3つあります。一つ目は障がい者スポーツ教室の開催です。19競技のスポーツ教室を、それぞれ年8〜12回開催し、障がいの特性に応じたスポーツ技術や、ルール、トレーニング方法などの講習を行っています。また、職員たちが各教室を視察して、どんな用具が足りないのか、どんなことに困っているのかをヒアリングし、教室の運営をスムーズにするためのサポートをしています。

事務局長の恒川さんは「19という競技数は全国的に見ても多く、その理由として富山県は他県に比べて地理的にコンパクトであることが考えられます。県内各地から一箇所に集まりやすいという利点を活かして、年間を通してさまざまな教室が盛んに開催されているのは、富山県民としてとても誇らしいことです」と

話します。教室ののべ参加数は年間約3,000人。恒川さんは引き続き教室の充実に力を注ぎ、障がい者の選択肢を増やしていきたいと意気込みます。

スポーツ教室一覧 (19種目)

- 卓球教室
- サウンドテーブルテニス
- アーチェリー
- 水泳
- スノースポーツ
- ボウリング
- 車椅子バスケットボール
- ツインバスケットボール
- フットサル
- 車椅子テニス
- フライングディスク
- ソフトボール
- フットベースボール
- 障がい者空手道
- 聴覚陸上競技
- 聴覚野球
- 障がい者登山
- 卓球バレー
- ハンドバイク



二つ目は、スポーツ用具の購入・貸与です。購入した用具は障がい者が使えるのは

**スポーツ用具を
無償で貸し出し**



卓球パレー



スノースポーツ



フライングディスク



ハンドバイク

三つ目は、障がい者スポーツ指導員の養成講習会(初級)の開催です。障がい者スポーツ指導員は、障がい者のスポーツ参加のきっかけ作りを支援するだけでなく、健康や安全管理

**活動を支える
指導員を養成**



貸し出ししているスポーツ用具

もちろんですが、支援学校や小中学校、福祉施設、一般企業などにも無償で貸し出しています。
「パラリンピック効果もあり、自分も障がい者スポーツを体験してみたいという声が増えてきています。とくにポッチャや車いすバスケットの人氣が高まっていますね。健常者の方も気軽に利用していただき、障がい者スポーツへの理解を深めてもらえたら嬉しいですね。」

障がい者スポーツを趣味とする人、リハビリや健康維持・コミュニケーションを目的とする人、アスリートとして自分の限界に挑戦する人。スポーツへの親しみ方はそれぞれですが、「スポーツには間違いなく力がある」と恒川さんは感じています。例えば県内が輩出した障がい者

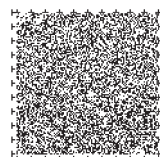
**スポーツの力と
これからの課題**

に配慮した指導を行い、スポーツの喜びや楽しさを伝える役割を担っています。
そのような指導員を養成するため、年1回の養成講習会を開催。障がい者スポーツ指導員として必要な人間力や知識技能を教えています。富山県では約300人が指導員の資格を取得しており、地域の大会や教室など、現場におけるサポートを行っています。指導員は社会人や学生、福祉施設で働く人などさまざま。一人ひとりの「障がい者スポーツを支えたい」「障がい者自身も成長したい」という想いが、障がい者への支援の幅を広げるにつながっています。

○問い合わせ先
富山県障害者スポーツ協会
076-413-2248

スポーツの国内トップ選手の中には、もともとスポーツが得意ではなかった方もいるそうです。しかしある競技に出会ってその楽しさを知り、今では日本中に感動を与える存在となりました。一人でも多くの障がい者にスポーツに親しむ機会を提供し、楽しさや生きがいにつながっていくことを望んでいます。
しかし、活動には課題もあります。「障がい者スポーツにおいて必要なのは、活動する『人』、その活動に対する『予算』、そして活動する『場所』です。富山県は教室がたくさんあるのにもかかわらず、障がい者が専用で使える施設が少なかったため、『場所』の確保に苦慮しています。また、数少ない専用施設も老朽化が問題となり、今後の活動場所の見通しがつかなくなっています。障がい者が安定的にスポーツに親しめる環境を整え、最終的には差別なくスポーツに親しめる地域社会を目指していきたいです」と、恒川さんは力を込めます。

インバスケの対象となる四肢麻痺の重度障が



**日本発祥の
車いすツインバスケット**

「富山Super Guts」は、富山県内で活動する車いすツインバスケットボール(以下、車いすツインバスケット)のチームです。下半身の障がい者を対象にした車いすバスケットに対して、車いすツインバスケットは四肢麻痺の重度障がい者でもプレーできるように、日本で考案され誕生した競技です。国体やパラリンピックの正式種目ではないため、一般の認知度はあまり高くありませんが、代表の松井さんは一人でも多くの人に知ってもらいたいと奮闘しています。



代表 松井秀一さん

富山Super Guts

い者は、下肢はもちろんのこと、上肢にも障がいを持ってきます。そのため上のゴールに届く人もいれば、届かない人もいます。届かない人でもゴールすることができるようにと、フリースローサークルの中央に置いた下ゴール(1・20m)を利用して、2つのゴールを利用してゲームを行うことから「ツインバスケット」という名前がつけました。

5人1チームで戦いますが、選手には障がいの軽重によって0・5点と4・5点の点数がつけられています。点数はメデイカルチェックによって決められ、点数が低いほど重度障がい者です。「5人の合計点数が11・5点を越えないようにチーム編制しなくてはいけない」「点数によってシュート位置が異なる」など、平等にプレーするための独特なルールがあります。

大好きなスポーツが 生きる楽しみに

松井さん自身も、四肢麻痺の重度障がい者です。18歳のときに車で自損事故を起こし、首の骨を折り頸髄を損傷しました。胸から下が動かなくなっただけで生きる希望

を失い、当時は死にたいとも思っていたそうです。

そんな松井さんに車いすツインバスケットを教えてくださいましたのは、当時入院していた病院のリハビリの先生でした。1995年に4人で富山初となるチーム「富山Super Guts」を結成。松井さんは結成からのメンバーとして、25年以上活動を続けています。「もともと小学校から高校まで野球をしていたので、身体を動かすことが楽しいです。練習は数少ない外出のきっかけにもなりますし、チームの活動を通していろんな人と出会うことができるので、間違いなく生きがいになっています」と松井さんは話します。



「富山Super Guts」のメンバーたち

現在は選手6人、マネージャー3人、コーチ1人、アシスタントコーチ1人で活動をしています。毎週日曜日、高岡市の体育館に集まり、毎年春と秋にある大会に向けて練習をしています。チームは弱小ではありますが、和気あいあいと楽しく活動することを大切にしています。同じ選手でも、生まれながらに脳性麻痺のある障がい者と、松井さんのように事故などで頸髄を損傷した中途障がい者がいます。お互いの考え方を知れることも、チームとして活動することの醍醐味だと言います。

「車の安全性が向上したことなどによって、頸髄損傷者は少なくなってきました。それはとてもいいことなのですが、競技としては選手人口が増えにくいという悩みがあります。さらに練習に参加したいという障がい者がいても、練習場所に来るための公共交通機関がない、来られたとしても交通費が高むことが大きな壁になっています。社会全体で障がい者がよりスポーツにも参加しやすい環境づくりが進むことを願っています。」

また、「富山Super Guts」の練習は重度障がい者に限らず、健常者も参加

することができます。障がいの者の居場所を残すためにも、さまざまな工夫をしながら活動を続けていきます。



高岡市の体育館での練習風景

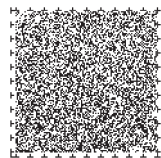
指導員、選手、 協議会の架け橋に

松井さんは「富山県障害者スポーツ協会」の関連団体である「富山県障がい者スポーツ指導者協議会」の事務局長でもあります。指導員・選手・協議会の架け橋として、車いすツインバスケットに限らず、障がい者スポーツ全体の普及にも取り組んでいます。

最後に、松井さんが富山の人たちに伝えたいことを聞きました。「もっと障がい者スポーツのことを知ってもらいたいんです。大会を開催しても、観客はほとんどいないのが現状です。コロナ禍で満席とまでは難しいですが、

少しでも興味を持ったら大会を見に行ったり、練習に参加してもらえたら嬉しいです」。松井さんは車いすツインバスケット、そして富山県の障がい者スポーツ界全体の盛り上げりに期待します。

富山Super Guts
info@toyama-twinbasket.com



〈まとめ〉

富山県では障がい者スポーツが盛んに行われていることがわかりました。しかし課題も多いのが現状です。誰もがスポーツを楽しめる共生社会を実現するために、まずは自分の興味がある競技があったら、観戦や参加の機会を探してみる、といいかもしれません。関わることに身構える必要はありません。ほかのスポーツと同じように、一人ひとりの興味関心から活動や支援が広がっていったら素敵ですね。





福祉のお仕事フェアを開催しました!

福祉関係の職場への就職を希望する一般求職者及び2021年度卒業予定の学生を対象に、「令和3年度 福祉のお仕事フェア in TOYAMA ~福祉の就職総合説明会2021~」(【福祉・介護分野】令和3年7月18日(日)、【児童・保育分野】令和3年7月25日(日))が富山国際会議場にて開催されました。

福祉・介護分野から83法人、児童・保育分野から53法人の出展があり、2日間で延べ262人の求職者が参加しました。面談では、事業所の方が求職者からの質問に答えたり、施設の概要や仕事内容、待遇等の相談に応じたりしました。

参加した求職者からは、複数の法人ブースを訪問しながら、法人の方針や雰囲気、必要な資格などについて事業所の方から直接話を聞くことができ、参加して良かったとの感想が多くありました。

また、県健康・福祉人材センターと介護労働安定センターによる就職相談コーナーを設け、資格の取得等の相談に応じました。

令和4年度のお仕事フェアは7月30日(土)、31日(日)を予定しております。



面談の様子



相談コーナーの様子

はじめての福祉の仕事サロンを開催します

福祉の仕事についての基本的な内容や現場の状況などについて、キャリア支援専門員がていねいにお答えします。

- 対象 福祉・介護分野に興味・関心のある求職者の方
- 日時 11月25日(木) 13:30~16:00
12月23日(木) 13:30~16:00
- 会場 サンシップとやま
- 定員 各月10名(先着順)※事前に下記へご連絡ください。



令和3年度福祉・介護職入職者への激励のことばをいただきました

県内の福祉・介護職に就職された方に向けて、県知事及び県福祉人材確保対策会議長からの激励のことばを県社協ホームページから配信しています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、同対策会議が主催する本年度の福祉・介護職の合同入職式が中止となりましたが、この式典で予定されていた新入職者への激励をインターネットを通じて送ります。

福祉・介護職に新たに就職された方は是非ご覧ください。

動画視聴期間は令和4年3月31日までです。⇒

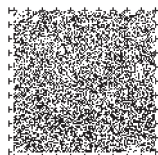


福祉の職場を目指すあなたを応援します!

参加希望
問い合わせ先

県社協
県健康・福祉人材センター
県保育士・保育所支援センター
TEL 076-432-6156

【開所日】月曜日~金曜日
(土・日・祝日および年末年始を除く)
【受付時間】8:30~12:00
13:00~17:00



社会福祉施設経営相談室から

保育園児の大声は受忍限度を超えているか

大坪 健(弁護士)

小さな子供達が元気良く遊んでいる光景は微笑ましく元気を貰ったような気分になります。が世の中そんな人ばかりではないようです。

神戸市に15年前に開園したH保育園の近隣に居住するGさんは、園児が園庭で遊ぶ際に発する声等の騒音が受忍限度を超えていて、日常生活に支障を来し精神的被害を被っている。主張し、慰謝料100万円の支払と騒音が50デシベル以下となるような防音設備の設置を求める訴えを提起しました。

Gさんは、H保育園が開設される前に勤めを終え、一日を通じて自宅で過ごす生活をしているようです。

神戸地方裁判所の判決の要旨は概ね次のようなものでした。

・本件は私人が発する騒音が問題となっているものであるから環境基準や騒音規制法及び神戸市の騒音基準が直接適用されるものではないが、私人間の騒音の受忍限度の程度を測定する上でも有益な指標といえる。

・Gさん宅に近い保育園敷地に設定した測定点では、園児が園庭で遊んでいる時間帯は76デシベルで騒音基準を

上回る。

しかし、H保育園敷地とGさん宅とは約10m離れておりその間にはIさん宅が介在している。H保育園で発生した騒音は概ね17〜18デシベル減衰することからすると、保育園敷地での騒音の値をもって直ちにH保育園からの騒音が受忍限度を超えているといえることはできない。

H保育園は近隣住民に対する説明会を1年ほどかけて行い、その間、遮音性能を有する本件防音壁を設置し、二重サッシに取り換えるなど騒音対策に努めてきたこと、最終的に折り合いがつかなかったものの、H保育園からGさん宅敷地における防音対策による問題解決の提案がされたことが認められる。

以上の事情を考慮すると、Gさんが精神的・心理的不快を被っていることはうかがえるものの、園児の声等の騒音レベルが、未だ社会生活上受忍すべき限度を超えているものとは認められない。

Gさんはこの判決が不服で控訴し、さらに上告しましたがいずれも棄却されました。

あかいはね トピックス

あなたと私は、赤い羽根でつながっている。



赤い羽根共同募金運動 が始まりました

今回で75回目になる赤い羽根共同募金運動が10月1日から始まりました。

運動の初日、富山空港2階ロビーでは、赤い羽根空の第一便「厚生労働大臣・中央共同募金会会長メッセージ」伝達式が行われ、全日空スタッフ等から、メッセージと赤い羽根が県と市の関係者に手渡されました。

これからも、共同募金が「じぶんの町を良くするしくみ」であることを県民の皆様にご理解いただき、運動を進めていきますので、共同募金へのご協力をよろしく願います。



メッセージ伝達の様子

つながりをたやさない 社会づくりを支援する 活動をしている団体に 助成をします

本会では、令和4年度中の「つながりをたやさない社会づくり」に対する取り組みに、特別助成を行います。

※「地域から孤立をなくす活動支援特別事業」を包含し、昨年度募集分から「つながりをたやさない社会づくり活動特別支援事業」として助成を行っています。

(申請受付期間)

【予定】

令和3年12月

1日〜12月22日

※必着

(助成対象)

市町村社協、NPO、その他助成テーマの趣旨に沿った活動を行う団体。

(助成対象事業)

地域で孤立している人たちを支える「つながりをたやさない社会づくり」に対する取り組み等で、新たな見守りの仕組みづくりや居場所づくり、孤立をなくすための相談支援体制づくりや地域での講座や啓発事業、孤立をしたひとたちを支えるネットワークづくりなどを対象とします。

(助成額)

1団体30万円(子ども食堂等は20万円)を上限とする。

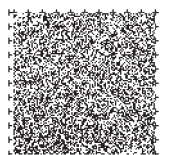
ただし、備品等の整備の場合、は、整備に要する費用の3/4。



○問い合わせ先

県共同募金会 ☎076-431-9800

ウェブサイト <http://www.akahane-toyama.or.jp>



我が社会福祉法人の 地域における公益的な取組

社会福祉法人 宣長康久会(富山市)

当法人の経営理念は「私たちは、皆さまが安心して幸せな生活を、住み慣れた地域で営んでいただくために貢献していきます」です。この理念の実践のため「地域貢献委員会」を設置しました。当初はイベントの参加、お買い物バス事業、高齢者への弁当の宅配をしていました。

令和元年度より「地域ニーズに即した地域貢献活動を地域住民と共に実施」を委員会で決め、地域高齢者のニーズ調査を兼ねた出張力フェ「なごなぐる」を開催しました。その結果「災害に不安を感じる」「次世代が少なくて不安」との声が聴かれました。このニーズにお応えするため①福祉防災マップの作成とエリア全世帯(5012世帯)へ無料配布を実施しました。



令和2年7月29日 神通碧小学校での福祉教育(自分を支えてくれる人について考える授業)

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の為、地域住民の生活は大きく変容し、自治会活動、サークル活動が少なくなりました。そのような時こそ、

当法人の貢献活動が必要と考えました。実施した活動は①神通碧小学校での福祉・地域教育の実施②多職種連携会議(セーナー苑保健センター・社協・行政)③子ども子育て応援マルシェ(セーナー苑・富山短大)④ユニバー雇用(3名採用)⑤福祉防災マップ第2版⑥地域サロンでの介護予防教室⑦居住支援法人(5名の支援)を実施しました。また、地域住民へアンケートを実施(回収率80%)し、次年度の活動に活かすことにしました。



令和3年7月25日 トヨタ自動車合同イベント(サポカー体験)

令和3年度は、上記の活動を継続とアンケート結果より、新たに①住みやすい大沢野・細入地域を考える会の発足②県内の法人と連携し「とやまの福祉よくするネットワーク」を設立③トヨタ自動車様と合同で「スマホ教室&交通安全教室」を実施しております。今後も地域住民と共に地域貢献活動を通して、地域共生社会を築きたいと考えております。

— あなたの能力を活かして社会活動しませんか — シニアタレント・語り部 登録者

募集中

人生100年時代の到来とも言われる現在、富山県では元気なシニア世代の方が年齢に関わらず、長年培った知識や技能、経験等を活かしながら地域で活躍する生涯現役社会(エイジレス社会)の実現を目指しています。そこで県社協 県いきいき長寿センターは、「富山県シニアタレント・語り部バンク」を設置して、人材を求める保育所・小学校・公民館等に紹介しています。

県内の子供からお年寄りの方に笑顔や感動を届けるため、あなたの能力を活かしてみませんか。県いきいき長寿センターは、あなたのやる気を応援します。

●シニアタレント・語り部とは…

県内在中の60歳以上で、ご自分の能力を活かした社会参加活動(講演・指導・出演など)を行う意欲があり、所定の研修を修了された方。

●応募方法

お電話いただければ登録希望用紙をお送りします。各種団体等からの推薦も可能です。後日、研修会(2月頃 会場:サンシップとやま)の開催時期に合わせて受講案内をお送りします。



尺八演奏の披露



富山大空襲の体験談



養成研修会

<流れ>

シニアタレント・語り部
(予定者含む)

保育所・小学校
公民館など

①研修の後に登録

④意向確認

⑤話し合い・成立

③問い合わせ派遣依頼

②情報提供

(富山県シニアタレントバンク)事務局:県社協 県いきいき長寿センター
ホームページ<https://www.toyama-shakyo.or.jp/vita/shidousyameibo/>

○問い合わせ先 県社協 県いきいき長寿センター ☎076-432-6010



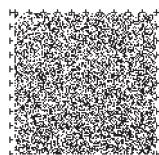
9月27日(月)、富山県特養経営者協議会
会長 林一枝様(左)から県社協 柴雅棋専務理事へ
寄付金を贈呈

ご寄付ありがとうございます

●寄付者一覧 令和3年8月16日から令和3年10月15日まで

●富山県特養経営者協議会 様 1,158,641円

県内の地域福祉推進のために活用させていただきます。



NPO法人 の紹介



豊かな自然に囲まれた場所で
利用者と職員が互いの幸せを願う

NPO法人 あいの風(黒部市)

黒部市宇奈月町にある「あいの風」。「富山型デイサービス」として、年齢や障がいの有無にかかわらず、地域に住む誰もが利用できます。管理者の橘さんに、活動への思いを伺いました。

Q 設立の経緯は？

私は市外から黒部市宇奈月町に嫁いできて、周辺の自然環境に魅了され、「こんな景色の良いところで働きたい」という夢をずっと抱いていました。そんななか、宇奈月町の高齢化が進んで施設が足りないという話があり、地域の方々に協力していただきながら2003年に「あいの風」を設立しました。

設立にあたって「富山型デイサービス」の存在を知り、子供から高齢者、障がいのある方まで、いろんな人たちが一緒に利用できるという点に強く惹かれました。「富山型デイサービス」であれば、まるで一軒家で暮らす家族のようにお客様同士が支え合い、刺激し合えるのではないかと。また自分たちも楽しく働けるのではないかと考えました。

Q 現在の活動は？

機能訓練やご入浴、お食事、レクリエーションなどを通して、お客様の生きがいづくりをサポートをしています。高齢者だけでなく子供や障がいのある方も気軽に利用していただけています。



まるで自宅のようなあたたかい雰囲気

あいの風が大切にしていることは一瞬一瞬を心からよこごび、たのしみ、笑って頂く事です。

具体的な活動として、誰かの役に立つよごびを感じられるように、台拭きづくりをしています。一針一針心を込めて手縫いしたものをお店で販売したり、被災地や小学校に寄付したり、家族の方にもプレゼント

しています。

Q 今後の活動、目標は？

現在16人の職員で運営しています。お客様に寄り添うためには職員の力が必要です。お客様に寄り添い、思いを言葉や動作等で表現できるように促し、お客様の気持ちを受け入れてあげるように努めています。

お客様、職員がお互いの幸せを願い「ありがとう」と感謝の気持ちや伝えられ、またすべての人によるこんで頂けるあいの風を目指しています。



管理者
橘 みつ子さん

○問い合わせ先

NPO法人 あいの風
黒部市宇奈月町柘屋15-1-4
管理者 橘みつ子さん
TEL 0765-651-1881

令和3年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

事故・紛争円満解決のために！

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

1 基本補償(賠償・見舞)

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

保険期間1年

▶年額保険料(掛金)		基本補償(A型)
基本補償(A型)付補償(B型)	定員 1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
	100名以降1名~10名増ごと	1,500円
	基本補償(A型)保険料	+
		【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所:1,300円 通所:1,390円

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 施設職員の補償

プラン4 社会福祉法人役員等の補償



スケールメリットを活かした
充実した補償と
割安な保険料
です。

●この案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

(引受幹事) 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

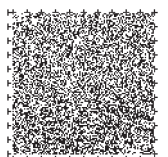
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)



(SJ20-12299 2020.12.28 作成)



唄や踊りなどの演芸を通して 地域の人たちを笑顔にする

なごみの会(小矢部市)

2014年から活動している「なごみの会」は、唄や踊り、三味線をメインとした公演を行うボランティアグループです。代表の酒井稔さん夫妻をはじめとした7名のメンバーが、小矢部市内の施設や病院、長寿会、公民館祭りなどに出向き、その会場に合わせてさまざまな演芸プログラムを披露しています。



代表 酒井稔さん・酒井美幸さん

もともと三味線の弾き語りが好きだったという稔さん。どこかで披露したいという思いから、ご近所の方たちに呼びかけてグループを結成しました。ほかのメンバーも踊りが好きな人や、ギターが弾き語りが好きなど個性豊か。それぞれ

が好きなものや得意なものを披露するため、一回の公演のなかには多彩な内容が盛り込まれます。

演歌、童謡、民謡などの懐かしい唄や、替え唄に合わせて演芸が披露されると、会場からは手拍子が起こりあたたかい雰囲気になります。ときには時事ネタも盛り込み、大きな笑いを誘います。

「芸というものは上手だけではいけません。どうやって会場にいる人を笑わせるかを常に考えています」と稔さん。唄や踊りを披露するだけでなく、紙風船やお手玉などを使って観客とコミュニケーションをとることで、一人残らず笑いの



メンバーの名畑さん

渦に引き込みます。「おもしろかった」「また来てね」という声が、メンバーにとって何よりの喜びです。



三味線の弾き語りをする稔さん

以前は1年に15回ほど公演をしていましたが、昨年から新型コロナウイルスの影響で思うように活動が見通せない日々が続いています。そんな中でも、稔さんは三味線の練習を続けながら「次は何を披露しようか」と考えているそうです。コロナ禍にも負けずに、これからも地域に笑顔の花を咲かせていきます。

○問い合わせ先
小矢部市ボランティアセンター
TEL 0766-6718611

富山県ホームヘルパー協議会

令和3年度「介護心柳」入賞作品

8月10日の「ホームヘルパーの日」とし、普及・啓発を図っており、その活動の一つとして、介護にあたるホームヘルパーや家族の想いなどの川柳を募集しました。応募総数834句の中から、次の句が入賞・入選となりました。

最優秀賞

雪止まぬ リュックで歩く 母ヘルパー
坂井 音水(12歳・小学生)

さのどくな 介護で学ぶ 富山弁
濱崎 知恵(29歳・ヘルパー)

ウィズコロナ 変らぬ介護 ウィズヘルパー
鮎川 郁夫(75歳・家族)

優秀賞

祖母の足 もむ紅葉の手
孫ヘルパー 岡部 伸子(77歳・家族)

会いに行く 完全防備で あんた誰
坂井 恭子(47歳・ヘルパー)

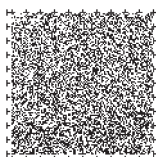
介護して 笑顔ふりまく 二刀流
綾部(保知)(74歳・一般)

五輪にも 勝る感動 介護の手
真鍋 信二(57歳・一般)

ヘルパーに ヒマワリさんと 母名付け
雨宮 源吾(77歳・利用者)

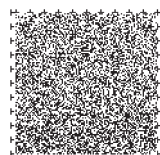
家族より 素直になれる 問柄
鈴木 良子(44歳・ヘルパー)

また来るね 去り際そっと つなぐ指
向柴 里美(49歳・一般)



企業のトピックが考える

「地域との共生」



岸田木材株式会社
代表取締役

岸田 毅氏



木とともに歩んできた 100年以上の歴史

当社は創業から数えると、約140年の歴史があります。氷見地区の宮大工棟梁として京都の東本願寺を建設したことは始まり、大正期には旧氷見漁港や役場、鉄道、学校などの建設を手がけていました。戦後はトンネルやダムに使われる土木資材の製材業が主力となり、現在は土木資材

に加えて建築資材、エクステリア資材なども扱っています。このように木材はいつの時代も、地域のあらゆる産業を支えてきました。

氷見は漁業のまちという印象が強いですが、面積の約6割が山林と言われています。その恵みである氷見産の杉は、柔らかさと強靭さをあわせ持ち、虫害に強いことから、電柱や船の材料として重宝されてきました。しかし状況が大きく変化したのが高度経済成長期。昭和30年、森林の過伐などが問題となり「木材資源利用合理化方策」が閣議決定されました。それによって土木・建設に木材が利用されなくなりました。

やがて海外から安い木材が輸入されるようになり、全国的に国産材の需要が低下。その結果、手入れされなくなった森林は荒れ果ててしまい、氷見においても雪折れや風倒などの被害が多発しました。

「ひみ里山杉」の ブランド化へ

これに危機感を募らせた氷見木材組合、富山県西部森林組合氷見支所、設計事務所、工務店、氷見市などが、2012年に「ひみ里山杉」活用協議会を発足し、氷見産の杉を「ひみ里山杉」としてブランド化するプロジェクトがスタートしました。氷見の豊かな自然を守るために森林を手入れし、資源を有効活用するための商品開発や、親子で参加できるイベントの企画など、多岐にわたる活動をしています。

こうして一時は使われなくなっていた氷見産の杉ですが、ブランド化の活動が少しずつ功を奏し、現在では氷見市役所議会、JR富山駅、県立リハビリテーション病院、富山県美術館、県会議事堂といった建築物に採用されるまでになりました。

氷見の森と人の 架け橋を目指して

当社ではほかに、SDGsのゴールと照らし合わせながら、さまざまな取り組みを行っています。例えば「ひみ里山杉」の住宅用木材としての活用推進。自分の家を使う木を伐採し、植林するという体験を通して「木を育てて活用する」という循環の大切さを伝えていきます。

小中学生を対象にした森林イベントでは、子供たちに伐採や植林を体験してもらいます。里山の持つ機能や、里山と人々の暮らしとの密接な関係性、里山が直面している課題などを知ってもらうことで、地産地消の大切さ、持続可能な地域の実現に対する理解を次世代につなげていきます。

また、市街地で暮らす人が、氷見の豊かな森林資源に目を向けるきっかけになればとの思いから、氷見市中央町の商店街に木材販売拠点を設けま

した。製材過程で発生した端材などを販売していて、ブルムとなっている住宅リフォームやDIYなどに使っています。ほかにも木工体験のワークショップを企画したりと、気軽に地元の木に触れる機会をつくり、その魅力を発信する場所にしていきたいと思っています。

地元産の木材の利用が促進されることは、地元の森林が整備されることを意味し、最終的には地球の自然環境の保全へとつながります。私たちはこれからも、氷見の森と人の架け橋として歩み続けます。



福祉用具・アイデアコンクール受賞作品発表!

本年8～9月、「豊かな暮らしをつくりだし、生活を支援する福祉用具」をテーマに「令和3年度福祉用具・アイデアコンクール」を実施したところ、153点もの応募がありました。その中から特に優れた作品をご紹介します。

一般部門

【富山県知事賞】

作品名: どこでもシャワーヘッドホルダー
 出品者: 森 扶美子さん
 【優秀賞】3点 【入賞】9点



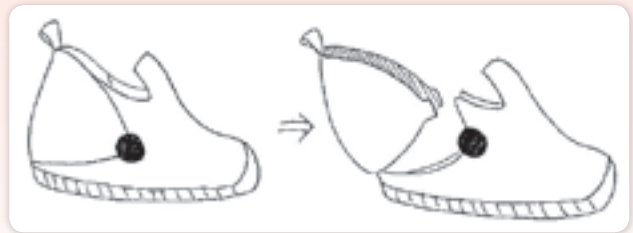
用途・特徴

浴槽、手すり、シャワーチェアなどに付け替え可能なシャワーヘッドホルダー。入院患者の入浴介助中に身体が冷えてしまうのを防ぐことができる。

高校生部門

【富山県知事賞】

作品名: らくらくシューズ
 出品者: 長澤 美優さん
 【優秀賞】2点 【入賞】5点



用途・特徴

靴の底に重さに反応するボタンが入っていて、靴を履くときにボタンを踏むと自動でかかと部分が上がり、ロックがかかる。靴をぬく際は横のボタンを押すと自動でかかと部分がはずれる。

受賞作品は、第25回福祉フォーラムで表彰します。また、11月22日から12月5日まで、応募作品をサンシップとやま2階モデルルームに展示します。発想力豊かな作品の数々をぜひご覧ください。

★第25回福祉フォーラム ●日時: 11月20日(土) 13時～16時
 ●場所: サンシップとやま福祉ホール・県民サロン

○問い合わせ先 県社協 県介護実習・普及センター ☎076-432-6305

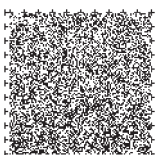


第25回福祉フォーラム開催&(パネルディスカッション) You Tube LIVEで生配信のお知らせ

今回のテーマ「コロナに負けない福祉のまちづくり」☆ココロを密にして、みんなで支え合う社会への一歩へ☆

新型コロナの感染拡大による不要不急の外出自粛や環境の変化等で孤独に苦しむ人が増加したり、交流の減少で支援が不十分となったり、当事者の苦しみに気付きにくい状態に陥っています。本フォーラムでは、このような状況だからこそ、みんなで支え合う社会の実現に向けた支援に、前向きに取り組む方々の生の声を届けます。今回も昨年同様パネルディスカッションをYouTubeLIVEで【生配信】しますので、たくさんの方に視聴いただいて、課題や新しい可能性を共有し今自分が出発することを一緒に考えましょう。

☆生配信日時 令和3年11月20日(土) 14時25分～16時 生配信



新型コロナウイルス感染症の影響に伴う緊急貸付について、受付期間を11月末まで延長します。

相談・申し込みはお住いの地域の市町村社会福祉協議会までご連絡ください。

県社協のおもな動き

11月日程	行事名	場所
3(水)	介護の日inとやま2021フェスティバル	ファボーレ
4(木)	第33回富山県保育研究大会	教育文化会館、サンシップとやま
	運営適正化委員会第4回苦情解決部会	教育文化会館
5(金)	11月度日常生活自立支援事業契約締結審査会	サンシップとやま
9(火)	災害救援ボランティアコーディネーター・リーダー養成研修会フォローアップ研修Ⅱ	サンシップとやま
	キャリアパス初任者研修(～10日)	サンシップとやま
15(月)	新任民生委員・児童委員研修(県東部)	県民会館
16(火)	東海北陸ブロック市区町村社協職員研究集会	オンライン(Zoom)
20(土)	第25回福祉フォーラム	サンシップとやま
22(月)	新任民生委員・児童委員研修(県西部)	砺波市文化会館
12月日程	行事名	場所
2(木)	生活困窮・福祉資金担当職員合同研修・連絡会	サンシップとやま
3(金)	12月度日常生活自立支援事業契約締結審査会	サンシップとやま
8(水)	社会福祉連携促進セミナー	高志会館
9(木)	地域包括ケアとCSW研修・後期(～10日)	高志会館
10(金)	社会福祉法人労務管理研修	富山県市町村会館
14(火)	民生委員・児童委員課題別研修(富山)	ボルファートとやま
17(金)	第2回ケアネット活動コーディネーター研修会	サンシップとやま
21(火)	民生委員・児童委員課題別研修(高岡)	高岡問屋センター

(新型コロナウイルス感染症の拡大状況により変更する場合があります。)

編集後記

特集でご紹介した「富山Super Guts」の松井秀一さん。取材期間の9月はまん延防止等重点措置の期間中で、オンライン取材となりましたが、画面越しながらも「障がい者スポーツのことをもっと知ってほしい」という強い思いが伝わってきました。YouTubeやブログでもさまざまなことを発信されているので、ぜひ皆さんもご覧ください。私も車いすバスケの練習に参加してみたいと思います。

本誌に関するご意見・ご感想をお聞かせください。

- ウェブサイト <https://www.toyama-shakyo.or.jp/>
- メール info@toyama-shakyo.or.jp

ハートは富山県のボランティア活動のマスコットマークです。



Free Talk

「多文化共生のまちづくり」

富山県外国人ワンストップ相談センター
相談コーディネーター
清水 文代さん



富山県外国人ワンストップ相談センターは、令和元年4月から施行された入管難民法により、新たな在留資格「特定技能」で入国する外国人材の増加を見込み、それらの方々の生活支援を意図して全国に110か所あまり設置された相談センターの一つです。生活相談が中心ですが、令和2年の春以降は、コロナ感染症に關わる相談が多く寄せられるようになりました。

今や地域のグローバル化が進み、富山県内でも外国人の方との関わりを持つ場面が増えていきます。「職場にベトナム人の方が働いている」、「知人が外国人と結婚する。」など、外国人の方についての話題も多く耳にします。富山県国際課の発表資料によると、令和3年1月1日現在で富山県に住んでいる外国人は19,084人で、富山県全人口の2%弱を占めます。

その様な状況を踏まえて、地域住民と外国人がお互いどのように接していくかを考えていくことがますます大切となっています。「外国の方を初めて採用するが、事前にどのような準備をすればよいか」、「隣の空き家に外国人が住み始めて、手作りのお料理を持ってきたが何か不安だ。」といったような相談も寄せられています。双方のコミュニケーションは、時間と経験を重ねて深まっていくものだと感じています。

社会福祉法人 富山県社会福祉協議会は

住民主体の地域福祉の理念に基づき、だれもが安心して暮らすことができる福祉社会の実現をめざし、県内の民生委員・児童委員、福祉施設、福祉従事者、ボランティア等で構成する、公共性と自主性をもつ民間社会福祉組織です。

